

# 平成22年(2010年)12月期 第2四半期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

2010.8.17

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

**JASDAQ**  
Listed Company 3386

## 目次



人と科学のステキな未来へ  
コスモ・バイオ株式会社

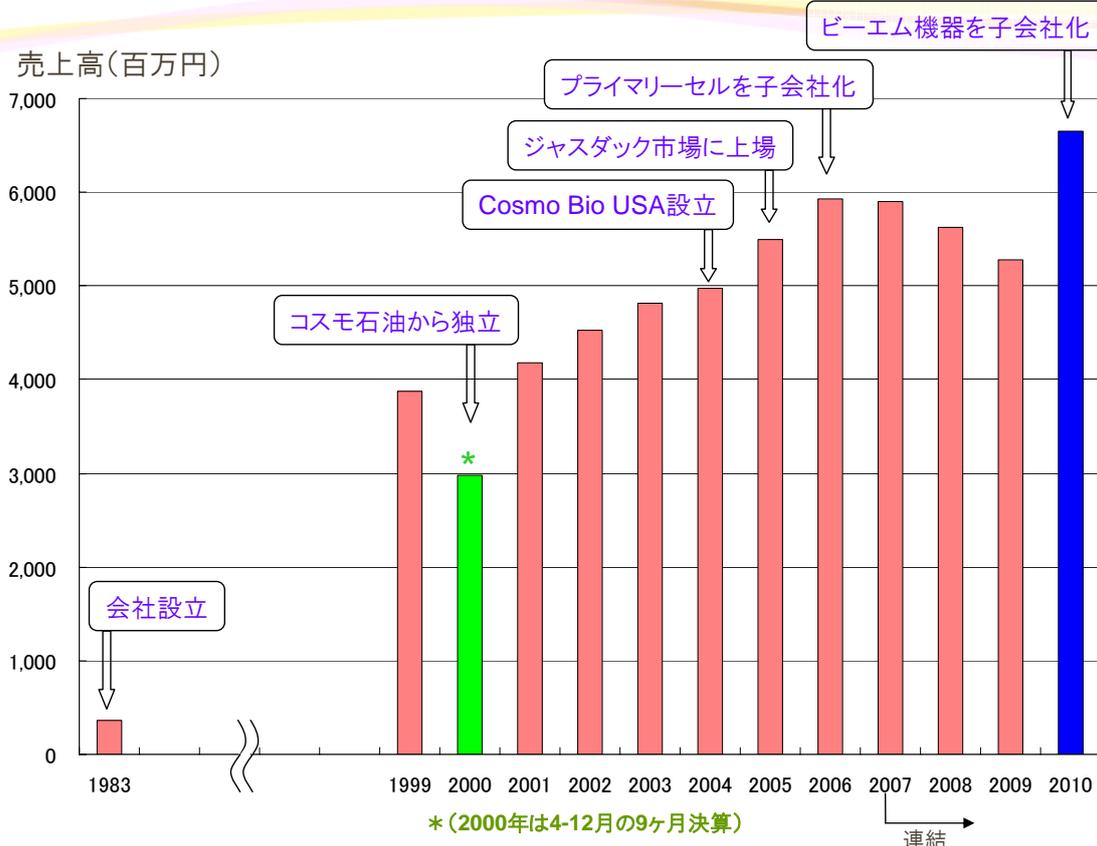
1. 会社概要と事業の内容
2. 2010年12月期 第2四半期決算の概要と  
通期業績見通し
3. 2010年12月期事業計画

# 会社概要

社名： コスモ・バイオ株式会社  
 業種： 卸売業  
 証券コード： 3386  
 本社所在地： 東京都江東区東陽2丁目2-20  
 代表者： 代表取締役社長 笠松 敏明  
 設立： 1983年8月25日  
 事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、  
 臨床検査薬の輸出入および国内販売  
 従業員数： 連結：113名 個別：80名  
 連結子会社： 株式会社プライマリーセル  
 ビーエム機器株式会社(3月までは  
 持分法適用関連会社)  
 非連結子会社： Cosmo Bio USA, Inc.



# 当社の歩み



## 株式の状況

### 株主数の推移

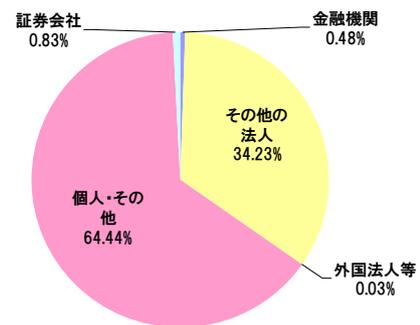


発行済株式数  
60,480株

### 大株主状況

株主名	持株数(株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.05%
コスモプロパティサービス株式会社*	5,760	9.52%
コスモ・バイオ従業員持株会	4,717	7.80%
福井 朗	3,000	4.96%
株式会社ブルボン	2,937	4.86%
原田 正憲	2,200	3.64%

### 所有者別株式分布状況



\*第1四半期会計期間に、コスモ石油株式会社から同社連結子会社のコスモプロパティサービス株式会社に株式を譲渡

## 主な商品の分類と売上構成(連結)

### 試薬

80%

汎用試薬  
(バイアル単位で販売)



応用試薬  
(用途に合わせて試薬等をセットにしたもの)



### 機器

17%



### 臨床検査薬

3%

## 2010年上期(1-6月)の取り組みハイライト

- ① ビーエム機器株式会社の発行済株式を約33%追加取得し、連結子会社化
- ② RNAi分野を強化するため、株式会社B-Bridgeから事業を譲受
- ③ 下記の5社の仕入先と、日本国内における独占販売代理店契約を締結
  - 米 DVバイオロジクス社・・・ヒト初代培養細胞
  - 米 バイオセティア社・・・遺伝子発現ベクター
  - 独 シリオンバイオテック社・・・遺伝子発現ベクター
  - 米 ピュラシップ社・・・ヒト肝臓由来物
  - 米 イミュンテクノロジー社・・・組み換えタンパク質と抗体

## ハイライト① ビーエム機器株式会社

- バイオ研究用機器・器材の輸入、卸売販売を主とする商社
- 2007年10月に発行済株式の30%を取得し、持分法適用関連会社に
- 2010年3月に約33%の株式を追加取得し、連結子会社化
- 前期(平成21年12月期)の売上高は、1,955百万円

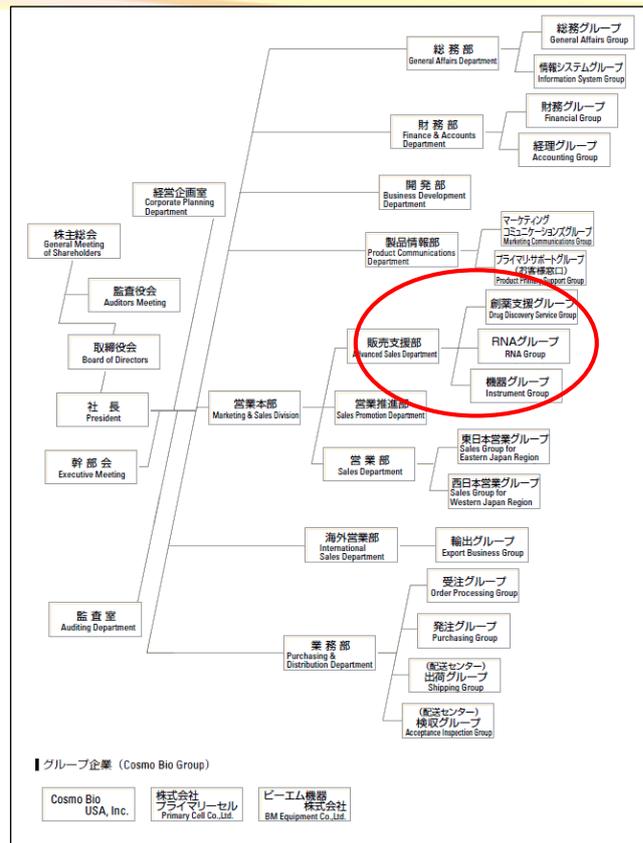


機器販売の強化

## ハイライト② RNAi分野を強化

- お客様向け提案営業の強化  
(販売支援部の設立)
- 株式会社B-BridgeからRNAi  
事業を譲受  
販売支援部のなかにRNA  
グループを新設

現在盛んに研究が行われている  
RNAi分野のシェア拡大を狙い、  
独自のB-AlgoというsiRNA配  
列設計法をもとに、顧客満足度  
の高い受託サービスを展開



## 2. 2010年12月期 第2四半期決算の概要と 通期業績見通し

## 決算のポイント

- 3月にビーエム機器株式会社を連結子会社化し、第2四半期から連結業績に寄与
- 第1四半期(1-3月)に補正予算の執行も加わり、売上高増加
- 為替レートの円高推移により、売上原価率が減少
- 通期業績を見直し、予想を上方修正

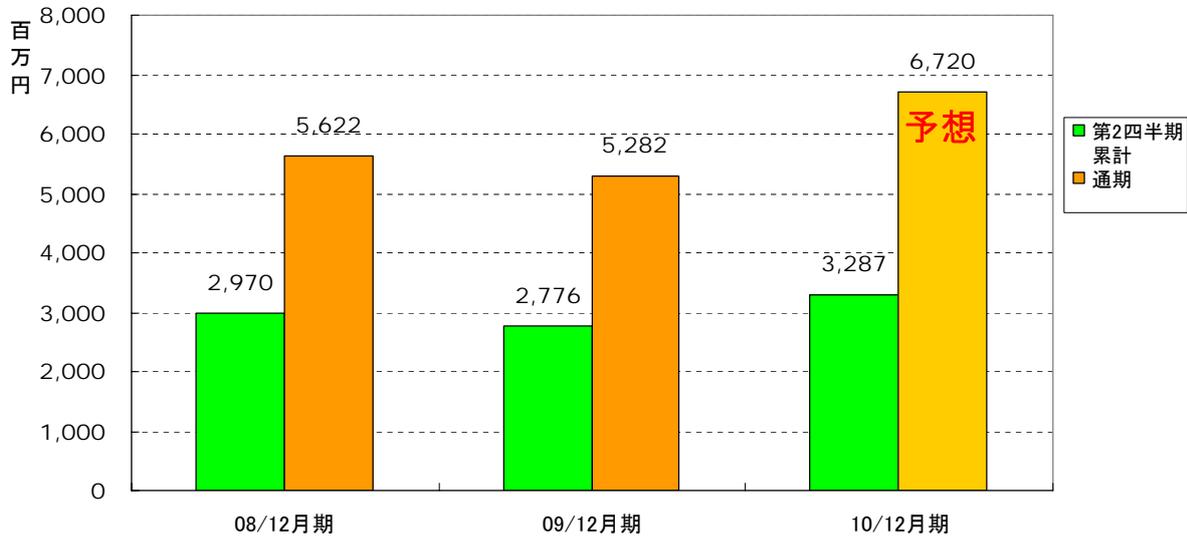
## 連結損益計算書(前年同期比)

(単位:百万円)

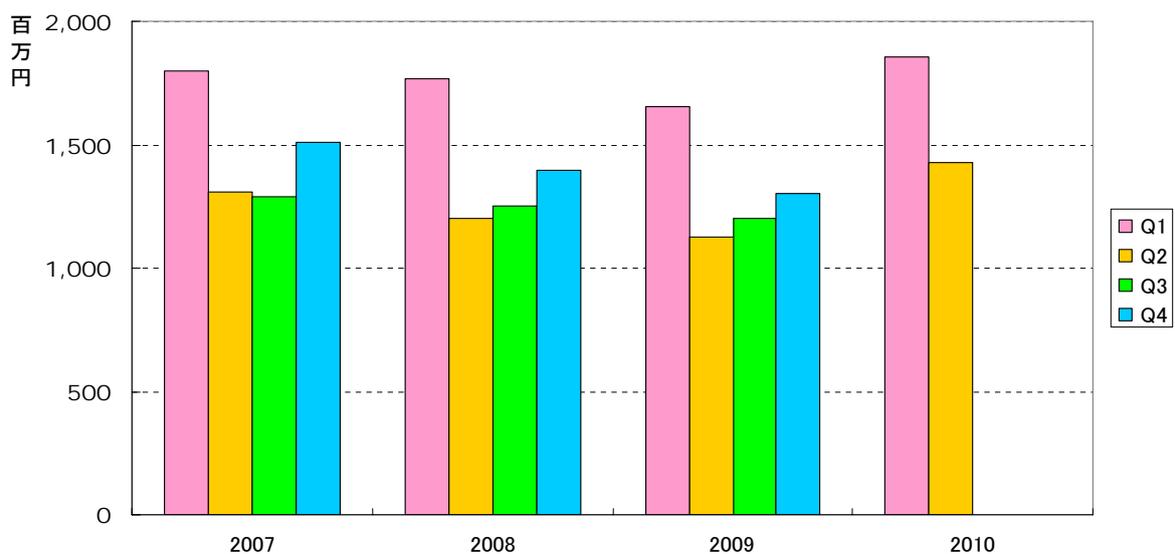
	2009年 第2四半期累計	2010年 第2四半期累計	増減額	前年 同期比
売上高	2,776	3,287	511	118%
売上総利益	1,138	1,396	258	123%
販管費	833	935	102	112%
営業利益	305	461	156	151%
経常利益	317	445	128	140%
四半期純利益	197	278	81	141%

## 連結売上高推移

- 第1四半期(1-3月)に大学等の予算執行が集中
- 第2四半期よりビーエム機器の売上を取り込み、結果前年同期比118%

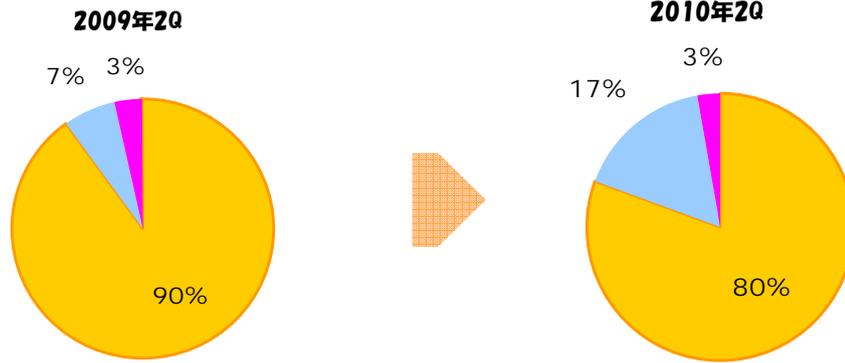


## 四半期別連結売上動向



第1四半期は予算執行が最も活発で売上が大きく、その後、新年度にあたる第2四半期に売上が落ち着くものの、第3から第4四半期に向けて売上が増加する傾向

## 商品分類別売上(連結)



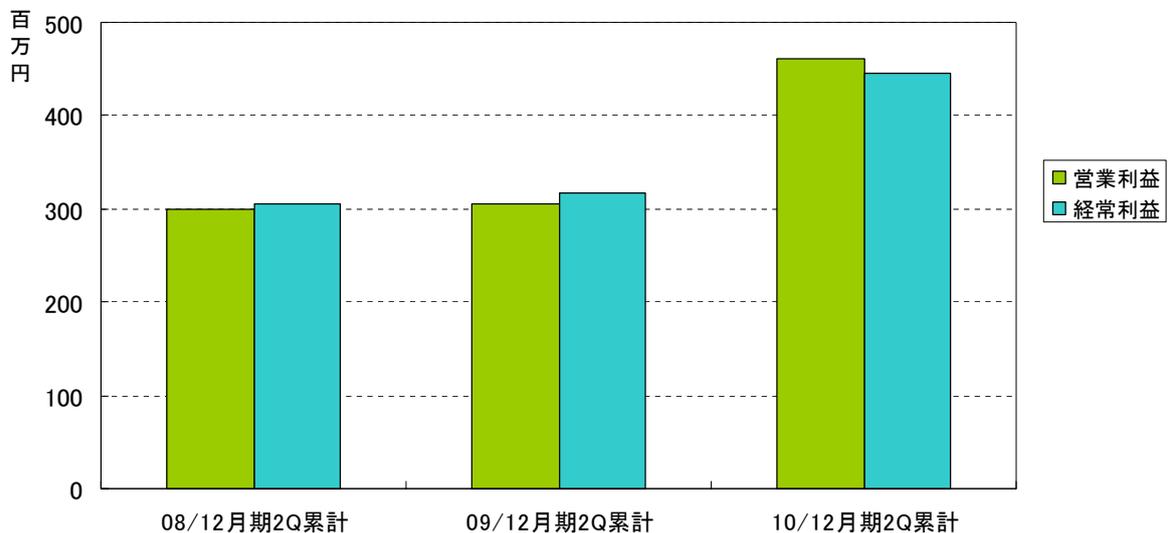
(単位:百万円)

	09/12月期2Q累計		10/12月期2Q累計		増減額	前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
研究用試薬	2,501	90.1%	2,649	80.6%	148	106%
機器	181	6.5%	548	16.7%	367	303%
臨床検査薬	94	3.4%	90	2.7%	▲4	96%
合計	2,776	100.0%	3,287	100.0%	511	118%

## 連結利益推移

### 増益要因

- ビーエム機器の連結化(4-6月)による増益
- 売上高の増加と円高による仕入原価率の低減



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2009年12月末	2010年6月末	増減額
総資産	5,557	6,124	567
流動資産	3,908	4,339	431
固定資産	1,649	1,785	136
負債合計	1,237	1,178	▲59
純資産合計	4,319	4,946	627
株主資本	4,363	4,569	206
少数株主持分	—	417	417
自己資本比率	77.7%	74.0%	

売上債権及び商品の増加

土地・建物等の有形固定資産の増加

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2009年 第2四半期累計	2010年 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	654	308	▲346
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲425	▲288	137
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲66	▲72	▲6
現金および現金同等物の増加額	161	▲56	▲217
現金および現金同等物の四半期末残高	1,368	1,355	▲13

- 法人税等の支払いによるもの
- 役員退職慰労金の支出

# 2010年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	09/12月期 実績	10/12月期予想 (修正前)	10/12月期予想 (修正後)	対前年実績	
				増減額	増減率
売上高	5,282	6,659	6,720	1,438	127%
営業利益	456	456	535	79	117%
経常利益	445	446	518	73	116%
純利益	137	243	309	172	226%

	09/12月期		10/12月期 (予想)
配当金	1,200円		1,200円

平均為替レート	09/12月期	10/12月期上期 (実績)	10/12月下期 (予想)
円/USドル	94円	91円	95円

## 3. 2010年12月期の事業計画

## 4つの事業戦略

1. コア事業\*の強化
2. ブランドの創造
3. 海外展開の加速
4. 子会社とのシナジー効果の創出

### \*当社のコア事業:

ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、  
臨床検査薬の輸出入および国内販売

## 1. コア事業の強化「販売体制の強化」

- 先端的商品の充実、差別化したサービスと効果的なプロモーションによるビジネス基盤の強化
- 製薬企業を中心に、エンド・ユーザーに対し受託解析サービスなどの商品を、組織的提案型営業にて推進
- 当社の強みであるカタログ・WEBを使った効率的な販売活動の継続



# 1. コア事業の強化「細胞関連分野の強化」



2010年上期:

- 大学との長期共同開発に着手
- 細胞商品の仕入先拡充

2010年下期:

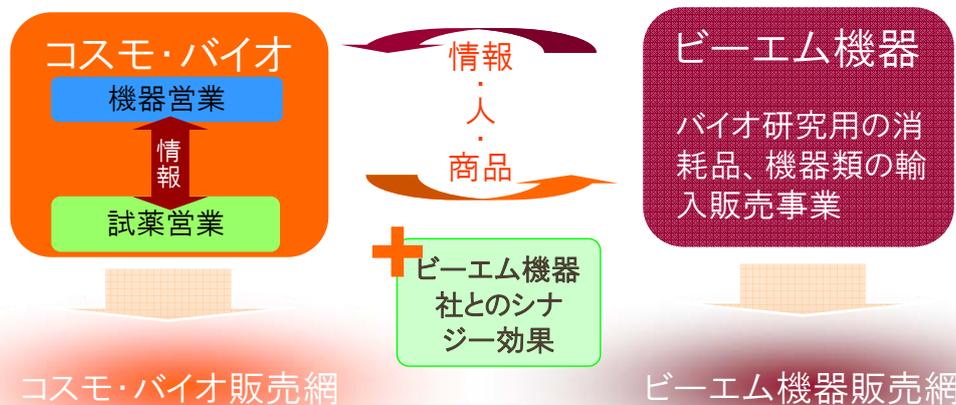
- 細胞輸送容器の開発・販売開始予定
- 各種培地の開発・販売開始予定



# 1. コア事業の強化「機器販売の強化」

3月:ビーエム機器を連結子会社化

両社の販売網を生かした、効果的な宣伝・販促を展開中



電気泳動装置  
「i-MyRun」



超音波細胞破碎装置  
「Bioruptor」



細胞イメージング  
「ImageStream」



遺伝子導入装置

## 2. ブランドの創造「社会的貢献」

### <引き続き実施中>

- 2004年から『公開講座応援団』を継続実施  
2010年度は、10件の公開講座への支援を決定
- 『Science Signaling』の日本語版サイトの継続提供



公開講座の様子



## 2. ブランドの創造「質の高い情報発信と顧客サービス」

- 学術ミーティング
  - 多数のミーティングにおいてセミナーの開催及び展示会への出展

	学会名	開催日	会場	開催地
終了	第38回フラーレン・ナノチューブ総合シンポジウム	3/2(火)~3/4(木)	名城大学共通講義棟北館	愛知
終了	第9回日本再生医療学会総会	3/18(木), 19(金)	広島国際会議場	広島
終了	日本農芸化学会2010年度大会	3/28(日)~30(火)	東京大学駒場キャンパス	東京
終了	第99回日本病理学会総会	4/27(火)~29(木)	京王プラザホテル	東京
終了	日本発生物学会 第43回大会	6/20(日)~23(水)	国立京都国際会館	京都
	第14回国際免疫学会	8/23(月)~8/27(金)	神戸国際展示場	兵庫
	第2回日本RNAi研究会	8/27(金)~8/28(土)	グランドプリンスホテル広島	広島
	第39回フラーレン・ナノチューブ総合シンポジウム	9/5(日)~9/7(火)	京都大学百周年時計台記念館	京都
	第69回日本癌学会学術総会	9/22(水)~9/24(金)	大阪国際会議場	大阪
	第33回日本分子生物学会年会 第83回日本生化学会大会	12/7(火)~12/10(金)	神戸ポートピアランド	兵庫

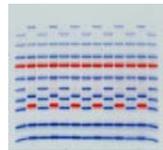
- 印刷物
  - 「コスモ・バイオニュース」の発行
  - 各種カタログの発行
- WEB
  - 最新商品情報の提供



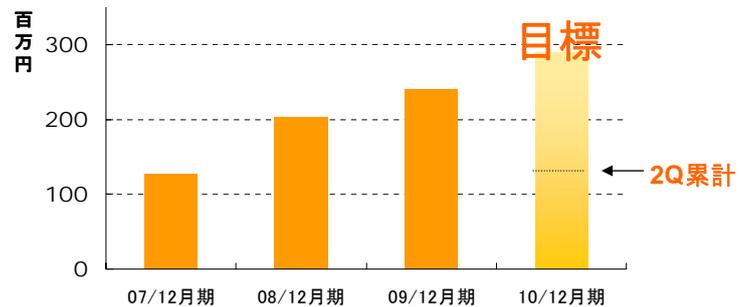
## 2. ブランドの創造「自社ブランド商品」

### ■ 高品質自社ブランド商品の充実

- **上期**は、特にCACブランド(Cosmobio Antibody Collection)、MIRブランド(RNAi試薬)で、高品質試薬の商品を充実
- グループ会社・関連会社間での自社商品の共同開発  
⇒各種培地、アッセイキット等を**下期**に販売開始



自社ブランド商品売上推移(単体)

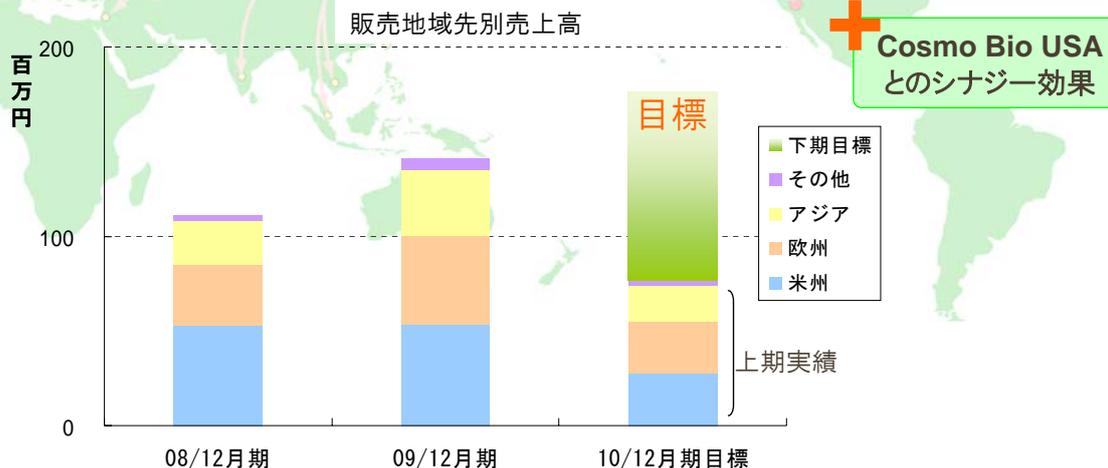


## 3. 海外展開の加速

- 販売代理店網を強化  
(2010年**上期**には、カナダに販売代理店を新たに設置)

<継続して展開中>

- Cosmo Bio USAと連携した売上拡大
- Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動



## 4. 子会社とのシナジー効果の創出

### 研究・開発・製造

#### プライマリーセル

初代培養細胞(プライマリーセル)の研究開発から  
製造・販売および細胞を用いた受託解析を行う

#### コスモ・バイオ

#### ビーエム機器

バイオ研究用の消耗品、機器類の輸入販売事業を行う

#### COSMO BIO USA

新規サプライヤー探索と輸出促進を行う

### 機器販売

### 海外展開

## ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。